



第24回 荒尾市在宅医療連携室事例検討会！

第28回 有明緩和ケア研究会！

荒尾歯科医師会副会長 坂田 輝之

荒尾市民病院がん化学療法看護認定看護師 森田 茂美
荒尾市民病院緩和ケア認定看護師 松山 美保

第23回 荒尾市在宅医療連携室事例検討会！

6月6日(水)19時より第23回事例検討会が多くの他職種参加者が参集した中、荒尾市医師会会館で行われた。

今回は荒尾歯科医師会が担当ということで、県庁より楠田美佳氏(健康福祉部 長寿社会局認知症・地域ケア推進課 地域ケア推進班)と本会を代表して田中みどり会員(医療連携担当委員)を招聘し講演頂いた。

田中正本会会長に司会進行をお願いし、前任地が有明保健所であった楠田氏には「熊本県における在宅歯科医療の取り組みについて」という演題で行政目線として4月に行われた保険点数改正がこれからの訪問歯科医療が地域ケアシステム確立のために多職種連携事業として荒尾市がいかに行きやすくなったかを解説頂き、田中会員には「在宅歯科医療事例紹介」という演題で今回の改正を踏まえた上で実際の訪問歯科医療の取り組みを実例(胃がん末期症例、認知症症例、ALS症例など)を交え、高齢者だけではなく難病を抱えた居宅療養患者まで訪問診療は可能なのでケアシステムの更なる確立を実現したいという視点で講演頂いた。

歯科が多職種連携事業の一躍を担うようになって久しいが、今回の保険点数改正で我々歯科医師、歯科衛生士が取り組むべき内容が具体的に示され、今まで以上に地域ケアシステムに貢献できることが実感できた2時間であった。



平成30年8月1日(水)第24回荒尾市在宅事業事例検討会と第28回有明緩和ケア研究会を合同開催しました。荒尾市内だけではなく有明地域(大牟田、玉名、佐賀)の医療・介護施設、行政より62名の参加がありました。昨年に続きアドバンス・ケア・プランニング(ACP)をテーマに、ミニ講座と「もしバナゲーム」の2部構成のプログラムとしました。まず1部のミニ講座で、その人の治療・ケアのゴールを共有し理解し合うために、共に話し合うことが、ACPの基本姿勢であることを伝えました。3本のミニ動画は、その人らしく生きること、その人の価値観、望むこと…など、みなさんそれぞれに“何か”を感じてもらえたと思います。

2部のワークショップは「治療困難な病気で、あと半年から1年の命と言われたら、“あなたは何を大切にしたいですか?”という設定で、「もしバナゲーム」というカードゲームを5人グループ(多職種)で行いました。「もしバナゲーム」とは、重い病のときや死の間際に大事なこととして、人がよく口にする「どのようにケアしてほしいか」「誰にそばにいてほしいか」「自分にとって何が大切か」といった言葉が記された35枚のカードの中から、自分が大切に思うことを選んでいくゲームです。手元に最後に残った5枚のカードから大切に思うカード3枚を選び、なぜその3枚が大切なのか、なぜ残りの2枚を選ばなかったのか、その理由をグループで共有していきます。「もしバナゲーム」は自分の価値観を考え、それを自分の言葉で語ること、また他人の価値観を聴きそれぞれが新たな視点を得ることを目標にしています。それはACPの基本姿勢につながります。(参考:iACP、ルールの詳細:亀田グループ・医療ポータルサイトを参照)

平成30年3月の「人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン」の改定では、「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」と名称が変更され、さらに医療・ケアチームの対象に介護従事者が含まれることも明確化されました。これからは、人生の最終段階を迎える患者・家族と“その人”にかかわるすべての医療・介護従事者が話し合うプロセスがより重要となってきます。今後もアドバンス・ケア・プランニングのプロセスが有明地域で、医療・介護従事者のみではなく、一般の方々にも広がっていく活動を行っていきたくと考えています。

「地域における医療と介護のつながりを深める研修会」

期間 : 平成30年5月～平成31年2月、隔月第1水曜日
時間 : (1部) 19:00～20:00 (2部) 20:00～21:00
場所 : ホテルヴェルデ
対象者 : 医療・介護に携わる専門職
◆研修会は、2部構成で開催致します。

日程	タイトル	講師
第1回 2018.05.16	認知症地域連携	石川智久先生 熊本大学病院 神経精神科
第2回 2018.07.18	がんの地域連携	濱口裕光先生 荒尾市民病院 外科
第3回 2018.09.05	心不全の地域連携	梶原一郎先生 荒尾市民病院 循環器内科
第4回 2018.11.07	糖尿病治療の注意点	佐々木一成先生 荒尾市民病院 代謝内科
第5回 2019.01.09	脳卒中の再発予防における地域連携	大嶋俊範先生 荒尾市民病院 神経内科
第6回 2019.02.08	特別講演(タイトルは未定)	池田学教授 大阪大学大学院精神医学分野

第1回目に引き続き7月18日に第2回目の研修会が開催されました。荒尾市民病院【外科】濱口裕光先生による「がんの地域連携」の講義に参加者の方々全員熱心に聞いておられました。

その中で「私のノート」は、患者様・ご家族と医療関係者間の良好な意思疎通をサポートするツールとして活用できるものであり、また患者様とご家族の日常生活を通して幸せや生きがいを手助けできるものである。濱口先生の丁寧でわかりやすい言葉での説明を参加者の方全員がうなずきながら最後まで耳を傾けておられました。



荒尾市在宅医療連携室 在宅ネットあらお
 荒尾市宮内 1092-18(荒尾市医師会敷地内)
 TEL:0968-57-9350 FAX:0968-57-9605
<http://zaitaku.arao-med.or.jp>
 ホームページにも載せておりますのでご覧ください
 担当:青木・荒巻